

第 165 回東葛しぜん観察会

稲ワラで楽しく作るお正月飾り

三角紀久子（流山市）

日 時：12 月 15 日（日）10 時～12 時 30 分 天気：晴れ

場 所：21 世紀の森と広場 パークセンター 2F 会議室（松戸市）

参加者：30 名（内 子ども 4 名） 指導員 14 名

講 師：日野原 担当指導員：三嶋 草野 三角

21 世紀の森と広場パークセンターとの共催で「稲ワラで楽しく作るお正月飾り」を開催しました。申し込み開始と同時に、昨年も参加した方、広報や観察会での呼びかけで心待ちにしていた方などで定員となり、年末の講座として定着した感あり！です。

初めの挨拶の後、お正月にゆかりの植物やお正月飾りに使われる植物＜松・竹・イネ（稲穂）・ナンテン・ユズリハ・ウラジロ・ダイダイ）の謂れについて、講師の日野原さんから説明があり、赤い実をつけたマンリョウ（万両）・センリョウ（千両）・カラタチバナ（百両）・ヤブコウジ（十両）、アリドオシとミヤマシキミは話だけの実物で葉や実の付き方の違いを見ていただきました。次はお待ちかねのお正月飾り作りです。日本全国で色々な形のしめ縄：注連縄・七五三縄があると話しながら、今回作るお正月飾りの見本を展示しました。

初めにワラを縛う A 班とお飾りを作る B 班に分かれて作業開始です。稲ワラは担当指導員が松戸市内で作っているもち米「マングヅモチ」という品種で、今年はとてもキレイで良い状態なのと指導員の皆さんの力強いアシストもあってか、小学生でも縄目が出てビックリするほど立派なしめ縄の出来上がりでした。お飾りは赤の水引・緑の松葉・扇面と追い羽根のピックに、しぜん観察会ならではの松ボックリ・ヒマラヤスギのローズです。最後に輪にしたしめ縄に好みの位置に取り付けていくのですが、同じ材料なのにオンリーワンのお正月飾りができて「楽しかった！満足した！」とアンケート調査で多かったようです。

準備から受付まで協力いただいたパークセンターと手際よくお手伝いいただいた指導員のスタッフ皆様に心より感謝します。



稲ワラ縄いでリースづくり



お飾りづくり